



2024年7月29日

各位

上場会社名 株式会社C I J
代表者名 代表取締役社長 坂元 昭彦
(コード番号: 4826 東証プライム)
問合せ先 執行役員 経営企画部長 森田 高志
(電話: 045-222-0555)

業績予想の修正及び特別損失(減損損失)の計上に関するお知らせ

当社は、2023年8月9日に公表いたしました2024年6月期の通期連結業績予想の修正、及び特別損失(減損損失)を計上することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2024年6月期通期連結業績予想数値の修正(2023年7月1日~2024年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2023年8月9日発表)	百万円 25,300	百万円 1,880	百万円 1,880	百万円 1,180	円 銭 20.35
今回修正予想(B)	25,733	1,964	1,993	948	16.35
増減額(B-A)	433	84	113	△232	
増減率(%)	1.7	4.5	6.0	△19.7	
(ご参考)前期実績 (2023年6月期)	22,859	1,829	1,839	1,142	19.51

(注)当社は、2024年4月1日付で普通株式1株につき1.5株の割合で株式分割を行っております。1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

(2) 業績予想修正の理由

売上高は、公共分野、製造分野の受注が堅調に推移したこと等により、前回発表の予想数値を上回る見込みとなりました。

営業利益、経常利益は、売上高の計画比増に加え、販売費及び一般管理費の圧縮により、前回発表の予想数値を上回る見込みとなりました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、以下のとおり連結子会社に係るのれん、固定資産等について減損損失を計上したことにより、前回発表の予想数値を下回る見込みとなりました。

なお、配当予想については、2024年2月26日に公表いたしました内容に変更ありません。

2. 特別損失（減損損失）の計上

当社の連結子会社である株式会社 a-LINK、株式会社 i-BRIDGE 及び i-BRIDGE Systems Philippines, Inc. (i-BRIDGE フィリピン) の3社については、複写機・複合機メーカーの機器等に組み込まれるソフトウェアを日本国内及びフィリピンでのオフショアで開発することを主業務としておりましたが、ペーパーレス化等に伴う複合機市場の変化に伴い、当該3社の収益の伸長が当初の計画を下回っており、のれんの減損の兆候が認められることから減損損失を認識するかどうかを判定した結果、2024年6月期において同3社に係るのれんの全額、固定資産等について減損損失を303百万円計上することといたしました。

なお、株式会社 i-BRIDGE 及び i-BRIDGE フィリピンにおいては、事業構造の見直しにより、2024年7月に当社が新設した「グローバルビジネス・デジタルソリューション R&D 推進本部」による生成 AI の活用や DX 推進のための活動における研究開発や製造を担当し、当社グループの AI ソリューション拡大の貢献を担います。また、当社グループ全体の事業への寄与を目的として、フィリピンの優秀な IT 人材の供給力を活かし、枯渇する国内 IT 人材を補完してまいります。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上